

令和3年度 さいたま市立与野西北小学校 学校関係者評価書

さいたま市立与野西北小学校

学校関係者評価委員長 正野 進



1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 13名(教育関係者3名、PTA関係3名、地域住民代表7名)
(2) 実施回数 3回(令和3年6月17日、令和3年11月10日、※令和4年2月9日)
※第3回は文書での開催

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

○今年度の教育活動の成果について

・コロナ禍が長引き、様々なことが延期、変更の1年であったが、学校の対応に感謝したい。知恵と工夫を絞り、できる限りのことを実施していただいたことに感謝する。

○人権教育・インクルーシブ教育について

・様々な出自、特性を持つ子どもたちがいる中、現状に満足せずに、困っている子を見つけていく目をもって接して行ってほしい。地域も協力したい。

○基礎学力の定着について

・数字として基礎学力の向上の様子が表れている。校長先生をはじめとして、職員の皆さんの努力の成果と思われる。

○子どもの成長・保護者の様子について

・子どもたちはアンケート結果にあるように、学校に楽しく通えている。それが何よりのことだと思う。評価項目全体で肯定的な回答が多く、良好な学校生活がうかがえる。

・保護者に目を向けると、自分のことを主張するが、相手を認められない人が増えているように思われる。保護者として、自身の子どものにできることを取り組んでいくという姿勢が求められる。

学校関係者評価を受けた学校の対応

○思いがけず長引いたコロナ禍の1年であったが、感染防止に努めつつ、円滑な学校教育活動が実施できた。令和4年度に向けウィズコロナの学校生活での、行事の取り組み方のさらなる工夫を進めていく。

○インクルーシブ教育をはじめとする、学校評価からうかがえた課題を整理し、次年度も一人一人の子どもがかがやく場であるよう、学校づくりを進めていく。

○令和4年度はコミュニティスクールとして、合同実施校八王子中学校との連携を深め、学校、地域、家庭の協働体制を高め、3者が同じ方向を向いて子どもの健やかな育成を目指し活動していく。

さいたま市立与野西北小学校長

書 上 敦 志



※ A4 1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。